

## 令和4年度第1回周南市国民健康保険運営協議会（書面開催）

番号	意見・質問の内容	回答
1	○マイナンバーカードの健康保険証利用と申請率について	<p>マイナンバーカードの保険証利用は2021年10月20日から本格運用が開始されています。</p> <p>現在、本市において、マイナンバーカードの保険証利用登録者数は            国保：11,722人／26,007人（45％：R4.1.17時点）            後期：10,023人／25,002人（40％：R5.1.14時点）</p> <p>また、周南市内でマイナンバーカードを保険証として使用できる病院は            139医療機関（病院43件、歯科30件、薬局66件）：R5.1.29時点            （厚生労働省が集計、公表）</p> <p>となっています。</p>
2	<p>周南市においては、医療・保険・介護・福祉などの連携体制がしっかりできているものと思います。市民一人一人のQOLが向上しつつあるのではないのでしょうか。しかしながら、市民一人一人の家庭を訪問することで見えてくるものもあります。一市民の眼から医療機関の受診の仕方など当事者の要望に応えようとすると（同じ症状で2つの病院に行ったり）次第に服薬の管理ができず残薬が出たり、高齢者の地域や家庭での見守り方といった課題に直面する。これ以上に庁内外の関係機関で連携し、より包括的な支援のもと健全な運営をお願いしたい。</p>	<p>本市において、薬剤の多剤服用の可能性のある方には毎年服薬通知書を発送しており（令和4年度721件）、深刻な状況にある方については、直接お伺いし、お話を聞きしております。</p> <p>地域包括ケアは複合的な相談も多く、社会的にもますます必要となってきております。高齢の被保険者が抱える問題についてご相談があった際は、本課に係る業務の実施、他課との連携により相談者の負担等軽減となるご利用可能な他分野の制度のご案内等、適切に行って参りたいと考えています。</p> <p>今後、マイナンバーによる健康保険証利用やオンライン資格化など簡便になることも多いですが、人と人とのつながりを大切にしたい対応を心掛けて参りたいと思います。</p>
3	<p>周南市の人口は減少し淋しい限りです。半面高齢者数は多く私も前期高齢者の一人です。健康に気を付けているつもりですが毎年受ける特定健診と人間ドックの結果はドキドキです。一年分の通知表だと思って受け付けています。</p> <p>費用はかかりますが、個人で受診することを思えばとても助かっています。ありがたいことです。地域の皆さんと健康な生活を送るためにお役に立てるボランティアをこれからも続けて元気な高齢者でいるように笑顔で過ごしましょうね。</p>	<p>本市の人口推計は今後</p> <p>令和7年：133,552人（うち65歳以上46,004人 全体の34.45%）            令和12年：127,212人（うち65歳以上44,349人、全体の34.86%）            令和17年：120,603人（うち65歳以上43,235人、全体の35.85%）</p> <p>となり、ますます高齢化率は高くなる予測です。</p> <p>このような中、今後の国民健康保険業務には、療養の給付のみならず、被保険者がいつまでも健康を保持できるように保険事業等の役割が一層求められてくるかと思えます。</p> <p>本市において、その時々に応じ、適切な業務の運営を行って参りたいと考えています。</p>

番号	意見・質問の内容	回答
4	<p>協会けんぽや他の保険から国保財政に対して、前期高齢者納付金として支援金が投入されており、協会けんぽの財政も今後、非常に厳しい状況になることが見込まれています。このような被保険者の財政状況も踏まえて、前期高齢者納付金として現役世代から国保財政に対して支援金が投入されていることを市民に対し分かりやすく周知いただきますようお願いいたします。</p>	<p>国保財政の仕組みは、被保険者にあまり知られていないうえに、制度の複雑さ故に説明が難しい部分であると感じております。</p> <p>しかし、各保険者が厳しい財政運営を強いられる中、本市としても何らかの形でこの現状を周知する必要があると考えております。</p> <p>方法として、国保財政についての市ホームページを作成し、その中で前期高齢者交付金・納付金について掲載する予定です。</p>
5	<p>国保と協会けんぽの健診データを分析すると周南市は血压リスクが県内で特に高くなっています。その要因と対策について、ご教示いただきますようお願いいたします。</p>	<p>令和3年度の周南市特定健診受診者の年齢構成を見てみると、65歳以上が全体の約8割で、その内の約半数が血压の薬を服用しています。高血圧治療中の受診者が多い事も、国保特定健診結果で血压リスクが高くなっている要因の1つだと考えられます。</p> <p>また、やまぐち健康マップの令和2年度の特定健診データ（国保及び協会けんぽ）の分析においても、特定健診項目別該当者の標準化該当比で本市は血压が優位に高いとなっており、高血圧の予防を始めとした、健診受診後の生活習慣の見直しが大変重要と考えております。</p> <p>そこで本市では、メタボ対策の特定保健指導だけでなく、健診結果で異常が見つかった方が保健指導を受けられるように、「けんしん結果相談会」を実施しています。特定健診を受けた方全員に結果と共に相談会の案内チラシを送付し、保健師、管理栄養士、歯科衛生士が個別に保健指導を行っています。</p> <p>今後、第3期データヘルス計画の策定に向けて健診データを分析し、要因も含め健康課題を明確にし、効果的な保健事業を展開していきたいと考えています。</p>